



PPF2015 日程表

8月20日(木)

	A会場		B会場	
12:00-13:00	受付			
13:00-13:15	開会式			
13:15-13:30	セッション A1 座長：東海林 敦	石田悠馬	セッション B1 座長：村山周平	下地風摩
13:30-13:45		岩高美帆		棟朝亮太
13:45-14:00		上原 渉		西尾優汰
14:00-14:15		高杉智博		橘高宏貴
14:15-14:30	休憩			
14:30-14:45	セッション A2 座長：花岡健二郎	松野 彩	セッション B2 座長：小川祥二郎	酒井悠希
14:45-15:00		石川夏海		中村美鈴
15:00-15:15		永石 龍		玉嶋江莉奈
15:15-15:30		粟生木美穂		清川恵奈
15:30-15:45	休憩			
15:45-16:00	セッション A3 座長：小川数馬	北田彩音	セッション B3 座長：吉田卓也	花井舜平
16:00-16:15		永井海舟		藤山紗希
16:15-16:30		東 杏澄		諏訪内悠介
16:30-16:45	休憩			
16:45-17:45	特別講演 座長：岸川直哉	山口政俊先生		
17:45-18:30	自由時間			
18:30-20:30	夕食			
20：30～	情報交換会			

8月21日(金)

	A会場		B会場	
7:00-9:00	朝食			
9:15-9:30	セッション A4 座長：上田真史	飯室翔平	セッション B4 座長：小谷 明	高藤季里子
9:30-9:45		日下部大樹		才津裕子
9:45-10:00		下村有輝		福田瑞穂
10:00-10:15		高橋翔大		三原義広
10:15-10:30	休憩			
10:30-10:45	セッション A5 座長：淵上剛志	蛭田勇樹	セッション B5 座長：辻野博文	重光佳基
10:45-11:00		谷口将済		川下理日人
11:00-11:15		渡邊裕之		丸野孝浩
11:15-11:30		中田晃弘		島本 茂
11:30-12:00	閉会式			

講演プログラム

8月20日（木）

セッションA1～A3
（A会場）

セッションB1～B3
（B会場）

特別講演
（A会場）

8月20日(木) 13:15~14:15

セッション A1

座長：東海林 敦(東薬大薬)

13:15-13:30

A1-1 生体内酸化・還元ストレス双方の是正を目指した有機セレン化合物の開発

○石田悠馬¹、松岡悠太¹、山田健一^{1,2}

(九州大・院薬¹、JST さきがけ²)

13:30-13:45

A1-2 アサリ由来必須微量元素セレンの分析

○岩高美帆¹、吉田さくら¹、原武 衛²、淵上剛志¹、中山守雄¹

(長崎大院医歯薬¹、崇城大薬²)

13:45-14:00

A1-3 セレン含有脂質を有するグルタチオンペルオキシダーゼ擬似体の合成

○上原 渉¹、吉田さくら¹、原武 衛²、淵上剛志¹、中山守雄¹

(長崎大院医歯薬¹、崇城大薬²)

14:00-14:15

A1-4 GLUT を介して細胞内に取り込まれる蛍光プローブの開発

○高杉智博^{1,3}、花岡健二郎¹、佐々木綾子⁴、山田勝也⁴、浦野泰照^{1,2,3}

(東大院薬¹、東大院医²、AMED CREST³、弘前大院医⁴)

8月20日(木) 14:30~15:30

セッション A2

座長：花岡健二郎（東大院薬）

14:30-14:45

A2-1 アスパラギン酸導入による体内動態改善を目的とした $\alpha_v\beta_6$ インテグリン標的 A20FMDV2 プローブの開発

○松野 彩¹、上田真史¹、宇井貴士¹、檜垣佑輔¹、神野神一郎¹、榎本秀一^{1,2}
(岡山大院医歯薬¹、理研 CLST²)

14:45-15:00

A2-2 Survivin を標的とした低分子腫瘍イメージング剤の合成および評価

○石川夏海¹、淵上剛志¹、溝口達也¹、吉田さくら¹、原武 衛²、中山守雄¹
(長崎大院医歯薬¹、崇城大薬²)

15:00-15:15

A2-3 葉酸受容体を標的とした放射性ガリウム標識薬剤の開発

○永石 龍¹、淵上剛志²、小野北斗²、吉田さくら²、原武 衛³、中山守雄²
(長崎大薬¹、長崎大院医歯薬²、崇城大薬³)

15:15-15:30

A2-4 フィチン酸を用いた放射性金属吸着剤の開発研究

○粟生木美穂¹、小川数馬²、角野須美¹、小谷 明¹
(金沢大医薬保健¹、金沢大新学術²)

8月20日(木) 15:45~16:30

セッション A3

座長：小川数馬（金沢大新学術）

15:45-16:00

A3-1 SPECT 用タウイメージングプローブの開発を目的としたベンゾイミダゾ
ピリジン誘導体の合成と評価

○北田彩音、小野正博、渡邊裕之、佐治英郎
(京大院薬)

16:00-16:15

A3-2 抗酸化能を可視化できる化学発光イメージング技術の開発

○永井海舟¹、岸川直哉²、大山 要²、黒田直敬²
(長崎大薬¹、長崎大院医歯薬²)

16:15-16:30

A3-3 選択的蛍光検出試薬を用いるパラジウムイオンの蛍光マイクロプレート
アッセイの開発

○東 杏澄¹、岸川直哉²、大山 要²、黒田直敬²
(長崎大薬¹、長崎大院医歯薬²)

8月20日(木) 13:15~14:15

セッション B1

座長：村山周平（放医研）

13:15-13:30

B1-1 ファージ提示法を用いたメタロ- β -ラクタマーゼを阻害するペプチド鎖の探索と評価

○下地風摩¹、朴 世薫²、安田健二²、西並 隆²、森岡弘志³、向 洋平⁴、
角田慎一⁴、堤 康央⁵、荒川宜親⁶、黒崎博雅⁷、山口佳宏^{1,2,8}
(熊本大院・自然科学¹、熊本大・工²、熊本大院・生命科学(薬)³、基盤研⁴、
阪大院・薬⁵、名大院・医⁶、金城学院大・薬⁷、熊本大・環境安全セ⁸)

13:30-13:45

B1-2 ウェルシュ菌由来新規毒素 BEC のサブユニット a(BECa) の立体構造解析

○棟朝亮太¹、沖 大也¹、余野木伸哉²、久米田裕子²、松田重輝³、児玉年央³、
飯田哲也³、元岡大祐³、中村昇太³、河原一樹¹、吉田卓也¹、大久保忠恭¹
(阪大院薬¹、大阪府公衛研²、阪大微研³)

13:45-14:00

B1-3 大腸癌診断を指向したヒト爪中代謝物の分析

○西尾優汰、関 俊哲、水野 初、轟木堅一郎、豊岡利正
(静岡県大薬)

14:00-14:15

B1-4 新規高プロトン親和性 Cookson 型試薬を用いた新生児血中 25-ヒドロキシ
ビタミン D₃ の LC/ESI-MS/MS 分析

○橘高宏貴、篠田健太、中田彬穂、小川祥二郎、東 達也
(東京理大薬)

8月20日(木) 14:30~15:30

セッション B2

座長：小川祥二郎（東京理大薬）

14:30-14:45

B2-1 HILIC カラムを用いたシネフリンの電気化学検出 HPLC

○酒井悠希¹、小谷 明¹、梅村知也²、森 宥貴子²、袴田秀樹¹
(東京薬大薬¹、東京薬大生命²)

14:45-15:00

B2-2 オボムコイドカラムを用いるアミノ酸誘導体の LC-MS/MS 分析

○中村美鈴、轟木堅一郎、水野 初、関 俊哲、豊岡利正
(静岡県大薬)

15:00-15:15

B2-3 フルオラス相互作用を利用したアミノ酸のタンデムマス分析と病態モデル
マウス試料への適用

○玉嶋江莉奈、巴山 忠、川見祐介、糸山美紀、吉田秀幸、能田 均、
山口政俊
(福岡大薬)

15:15-15:30

B2-4 Ion-pair fluoruous biphasic extraction 及び HILIC によるヌクレオチド類の
選択的分析法開発

○清川恵奈、巴山 忠、川見祐介、糸山美紀、吉田秀幸、能田 均、山口政俊
(福岡大薬)

8月20日(木) 15:45~16:30

セッション B3

座長：吉田卓也（阪大院薬）

15:45-16:00

- B3-1 両末端アミノ酸残基によるサイトグロビンの配位子結合性制御
○花井舜平¹、辻野博文¹、柳坂亮太¹、山下 沢^{1,2}、宇野公之¹
(阪大院薬¹、武庫川女大薬²)

16:00-16:15

- B3-2 NMR を用いた大腸菌 DNA 複製再開始タンパク質 PriB-DnaT 間の相互作用解析
○藤山紗希¹、阿部義人¹、片山 勉²、植田 正¹
(九大院薬・蛋白質創薬¹、九大院薬・分子生物²)

16:15-16:30

- B3-3 3-メルカプトピルビン酸硫黄転移酵素 (3MST) の結晶学的研究
○諏訪内悠介¹、藤間祥子¹、島本一史¹、篠倉 潔¹、長野哲雄^{1,2}、
花岡健二郎¹、清水敏之¹
(東大院薬¹、東大創薬機構²)

8月20日（木）16:45～17:45

特別講演

座長：岸川直哉（長崎大院医歯薬）

SL HPLC/蛍光・化学発光検出に基づく生体関連物質の計測と医療分析化学への展開
 山口政俊先生
 (福岡大学薬学部)

講演プログラム

8月21日（金）

セッションA 4～A 5
（A会場）

セッションB 4～B 5
（B会場）

8月21日(金) 9:15~10:15

セッション A4

座長：上田真史（岡山大院医歯薬）

9:15-9:30

A4-1 脂質二分子膜内におけるナイルブルーの蛍光増強を利用したプロテアーゼ定量法
○飯室翔平、東海林 敦、柳田顕郎
(東薬大薬)

9:30-9:45

A4-2 ミトコンドリア内還元ストレスの検出に向けた蛍光プローブの開発・評価
○日下部大樹¹、松岡悠太²、山田健一^{2,3}
(九州大・薬¹、九州大・院薬²、JST さきがけ³)

9:45-10:00

A4-3 新規含ホウ素三環系骨格を有する蛍光性糖化学センサー
○下村有輝、江川祐哉、三木涼太郎、関 俊暢
(城西大薬)

10:00-10:15

A4-4 低酸素誘導性タンパク質 CA IX を検出する off/on 型蛍光プローブの開発
○高橋翔大^{1,3}、花岡健二郎¹、浦野泰照^{1,2,3}
(東大院薬¹、東大院医²、AMED CREST³)

8月21日(金) 10:30~11:30

セッション A5

座長：淵上剛志（長崎大院医歯薬）

10:30-10:45

- A5-1 病態細胞の可視化を目指した温度・pH 応答性蛍光ポリマープローブの開発
○蛭田勇樹、舟津孝明、王堅、小出さやか、金澤秀子
(慶應義塾大学薬)

10:45-11:00

- A5-2 がん特異的酵素の活性評価を目的とした消光性蛍光ペプチド基質の開発
○谷口将済¹、家村龍司¹、小嶋 絢²、小西元美¹、秋澤俊史¹
(摂南大薬¹、立命館大薬²)

11:00-11:15

- A5-3 ジメチルアミノチオフエン誘導体を用いた β アミロイドタンパク質の蛍光生体イメージング
○渡邊裕之、小野正博、佐治英郎
(京大院薬)

11:15-11:30

- A5-4 GGT 活性検出蛍光プローブ gGlu-HMRG の静脈内投与時の体内動態と癌の可視化
○中田晃弘¹、神谷真子^{2,3}、花岡健二郎¹、浦野泰照^{1,2,4}
(東大院薬¹、東大院医²、JST さきがけ³、AMED CREST⁴)

8月21日(金) 9:15~10:15

セッション B4

座長：小谷 明(東京薬大薬)

9:15-9:30

B4-1 ICD-LC/ESI-MS/MS による玄米発酵食品 (FBRA) 中ケイ皮酸誘導体の
定量法の開発

○高藤季里子¹、津吹 澄¹、堀江裕紀子²、池川繁男³、小川祥二郎¹、東 達也¹
(東京理大薬¹、(株)コーケン²、(株)玄米酵素³)

9:30-9:45

B4-2 青色 LED 蛍光検出器を装備した二次元 HPLC システムの開発と
黒酢試料におけるキラルアミノ酸含量解析

○才津裕子¹、三次百合香¹、佐藤 裕¹、根岸栄一²、住山隆文²、長野正信³、
三田真史⁴、浜瀬健司¹
(九大院薬¹、資生堂医理化テクノロジー²、坂元醸造³、資生堂⁴)

9:45-10:00

B4-3 キノンの酸化還元サイクルを利用する食品中ピロロキノリンキノンの
HPLC-UV 定量法の開発

○福田瑞穂、岸川直哉、大山 要、黒田直敬
(長崎大院医歯薬)

10:00-10:15

B4-4 シラカバ抽出物に含有する CYP1B1 および 1A1 阻害活性物質の分析と
腸管吸収性の予測

○三原義広、高梨香織、伊藤慎二
(北海道薬科大)

8月21日(金) 10:30~11:30

セッション B5

座長：辻野博文（阪大院薬）

10:30-10:45

B5-1 HFIP 中におけるアミロイド β (1-42)ペプチドの二量体形成

○重光佳基¹、岩谷奈央子^{1,2}、天野剛志³、合田名都子¹、松崎瑞季³、
成田哲博³、星 美奈子⁴、廣明秀一^{1,3}

(名古屋大学大学院創薬科学研究科¹、日本学術振興会²、名古屋大学大学院理学研究科構造生物学研究センター³、京都大学大学院医学研究科⁴)

10:45-11:00

B5-2 フラグメント分子軌道法を利用した細胞間接着阻害化合物の相互作用解析

○川下理日人^{1,2}、田 雨時³、高木達也^{1,2}

(阪大院薬¹、阪大微研²、阪大院情報科学³)

11:00-11:15

B5-3 免疫抑制受容体 LAIR-1 とコラーゲンモデルペプチドの相互作用解析

○丸野孝浩¹、松村久美子²、西村光広³、元岡大祐³、沖 大也²、河原一樹²、
西内祐二⁴、吉田卓也²、大久保忠恭²、小林祐次¹

(阪大院工¹、阪大院薬²、阪大微研³、ペプチド研究所⁴)

11:15-11:30

B5-4 リポカリン型プロスタグランジン D 合成酵素の基質認識と生成物放出の
メカニズムの解明

○島本 茂¹、中川悠介¹、日高雄二¹、丸野孝浩²、小林祐次²、有竹浩介³、
裏出良博³、大久保忠恭⁴

(近大・理工¹、阪大院・工²、筑波大・国際統合睡眠医科学研究³、阪大院・薬⁴)